

1 級 2 次試験用 研究発表の制作の手引き

テーマと内容（どちらか1つを選択してください）

1. 【提案編】

あなたが今後第三者（ご自身とご家族以外）に対して、整理収納においてどのような「提案」をしていくかを考えてください。提案の方法を選択し、その方法に合った提案を制作してください。

2. 【実作業編】

あなたが実際に行った（自身以外、家族可）整理・収納の体験を通して、その目的と効果を述べてください。どのような目的で改善を行い、どのように理論を使いどのような効果があったかを具体的にしてください。

■当日持参するもの

- ・ 1 次・2 次共通受験票又は 2014 年 7 月以前に受験の方は 2 次試験受験票（兼 1 次試験合格通知）
- ・ 研究発表資料（A4 サイズ 5 枚、ご自身の分を含めて 6 セット）
- 6 セットのうちの 1 セットに、「研究発表テーマ表」を表紙として添付してください。
- すべてのセットにテーマ表を添付する必要はありません。

《研究発表資料の作成方法》

ご自身が決めたテーマに沿った研究発表を準備してください。

※研究発表のテーマと内容は同一であること。

1. 【提案編】

- ① 1 級・2 級の理論に基づいた提案で、提案する対象者※（ターゲット）が自分自身又は、同居する家族以外の第 3 者であること。（同居していなければ親戚も可）
- ② 上記ターゲットがどのような問題を抱えているかを具体的にすること。
- ③ ②を解決するための工程が具体的に示されていること。工程は作業工程又は、意識改革などを指します。その際に 1 級 2 級で学んだアドバイザー理論がどのように用いられているかを明確にすること。
- ④ 講座受講以前に自分が作った整理収納事業のプラン、セミナーをそのまま提出説明することは不可。
- ⑤ 効果的なセミナーの企画、アイデア収納、収納用品の開発企画、リフォームプランなども提案編として発表できます。その際、問題の解決のためアドバイザー理論がどのように使われているか、どのような効果が期待されているかなどが評価のポイントになります。

※対象者とは、特定の個人でもいいし、30 歳以上の女性のような集団を指してもよい

2. 【実作業編】

- ① 1 級・2 級の理論に基づいた実作業で、実施する対象者（ターゲット）が自分自身以外の第 3 者であること。（提案編と違い同居の家族は認める、自身と共有場所も可）
- ② 上記ターゲットがどのような問題を抱えているかを具体的にすること。
- ③ ②を解決するための工程が具体的に示されていること。工程は作業工程又は、意識改革などを指します。その際にアドバイザー理論がどのように用いられているかを明確にすること。

《研究発表資料の準備》（提案編・実作業編とも共通）

- ・ A4 サイズ 5 枚まで（表裏両面使用した場合最大 10 ページまで可能）。6 枚目以降使用不可。
5 枚以上使用したい場合は下記をご確認ください。資料は必ず 5 枚まででお願い致します。
- ・ 研究発表資料の他に「模造紙・スケッチブック・写真・模型」などを持参しての発表も可能です。
また、ホワイトボードやマグネットは会場にありますので持参不要です。※宣伝のチラシなどは不可。
- ・ 研究発表資料への図や写真の掲載は可能です。
- ・ 研究発表資料は自身のも含めて 6 セット用意下さい。 研究発表の際試験官と採点者に配布します。
テーマ表添付済の資料は試験官用として配布し、試験終了後はハウスキーピング協会へ提出されます。
- ・ お名前を資料全てのページにご記入下さい。
- ・ 研究発表資料は必ず 1 ヶ所のみホチキス指定箇所(左上)に止めて下さい。
- ・ パソコンを使用しての研究発表は行っておりません（2015 年 3 月以降開催の 2 次試験から改定）
- ・ 研究発表資料は P C ・手書き、縦書き・横書きは問いません。

■ 注意事項

- ・ 研究発表資料は当日持参を忘れると受験できませんのでご注意ください。
- ・ その他詳細は協会HPの「よくあるご質問」をご覧ください。

《試験の評価について》

研究発表は主に下記の 3 点について評価します

- ①発表能力：発表が聞いている人にわかりやすいか
- ②整理収納アドバイザーの考え方：アドバイザーとして学んだ内容がいかされていたか
- ③実用度：現実社会において実用性があるか